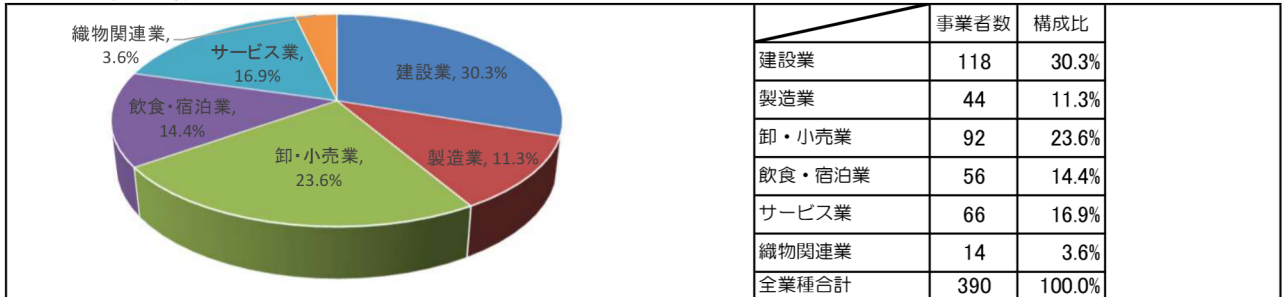


十日町市地域 企業景況調査 第4四半期報告書 (R4.1.1~R4.3.31) 会議所地区

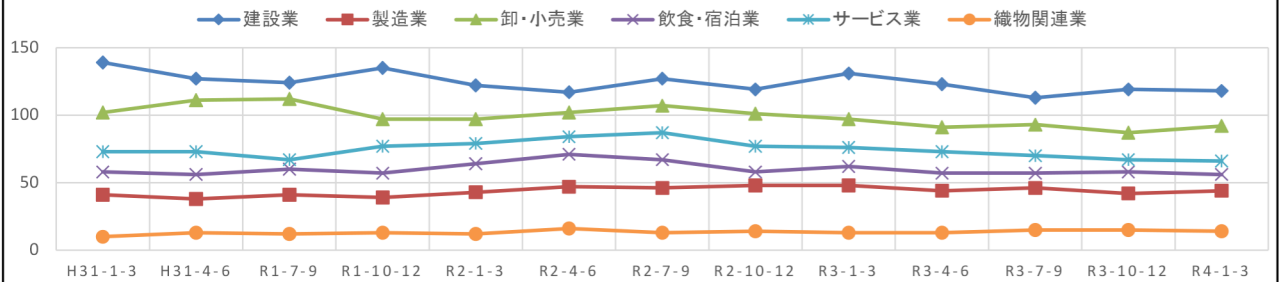
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>

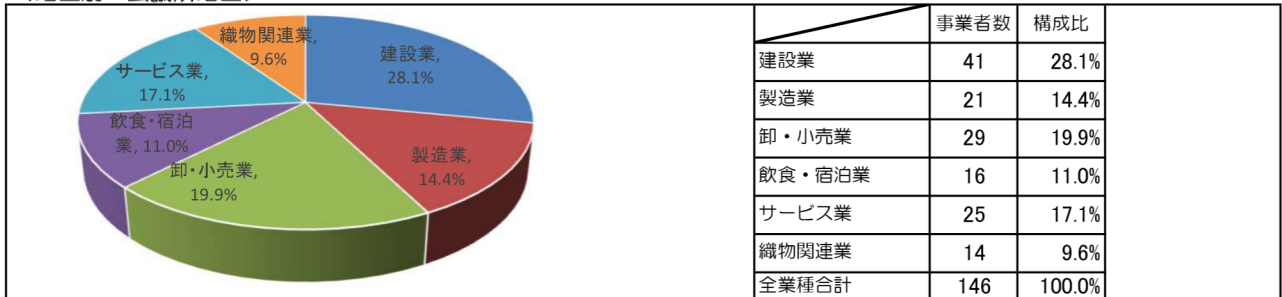


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

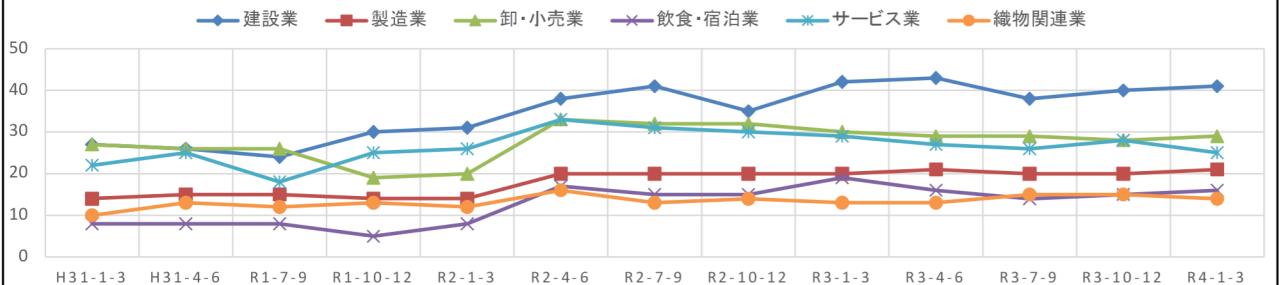


<コメント> 今回の調査は、十日町市内390事業所から回答を得られ、前回調査よりも2事業者増加している。建設業と飲食・宿泊業、サービス業で若干減少があったものの、製造業の増加が大きく、構成比については大きな差はないものとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



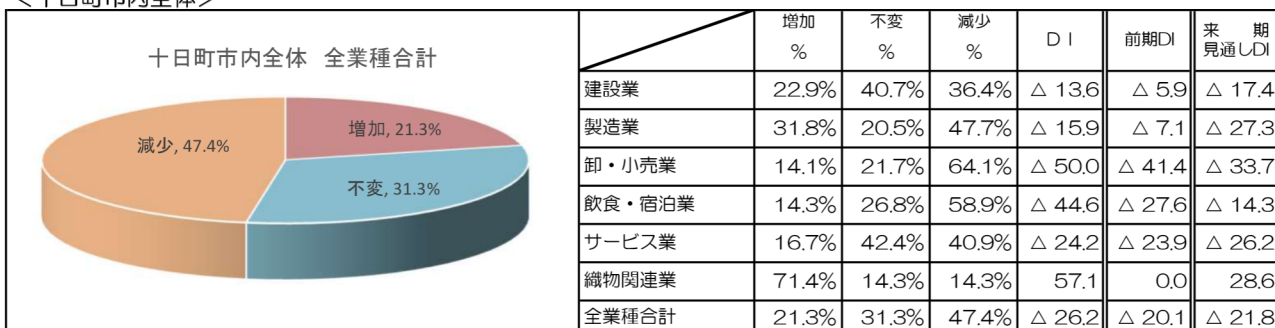
<コメント> 会議所地区の今回の調査回答状況は、配布193事業所のうち146事業所からの回答があり、回収率は75.6%であった。(前回：回答事業所146事業所、回収率75.6%)

D I 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

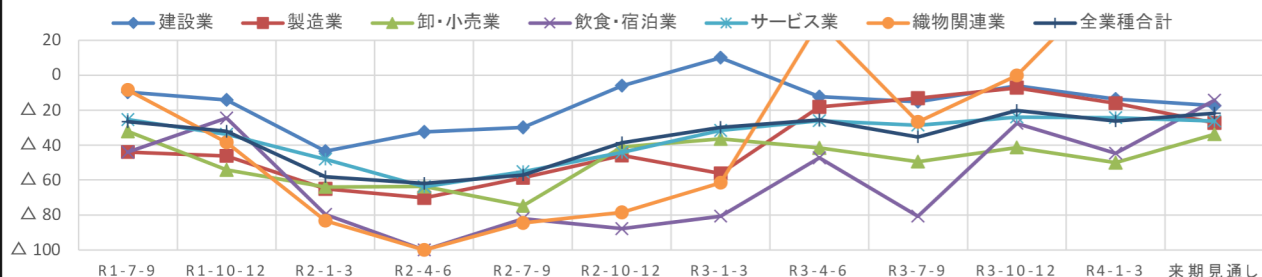
### 1. 売上について

- ・1月～3月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

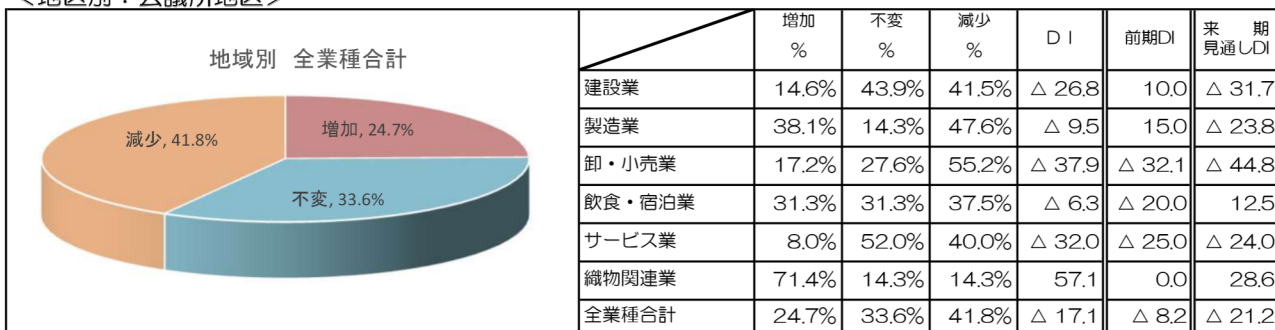


### 業種別売上の推移（市内全体）

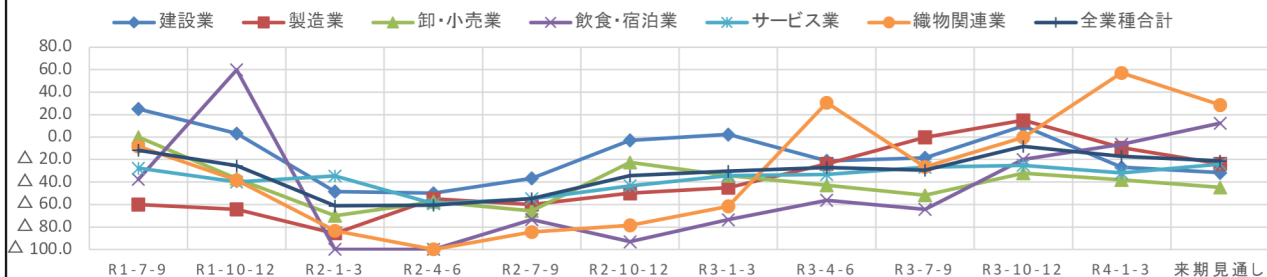


<コメント>十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種D I値で△26.2ポイントで、前回調査時よりも6.1ポイント低下となっている。製造業では上昇となったものの、その他業種について低下となった。来期見通しでは、卸・小売業、飲食・宿泊業で大きく上昇見通しとなることを受け、全業種D I値も上昇の見通しである。

<地区別：会議所地区>



### 業種別売上の推移（地区別）

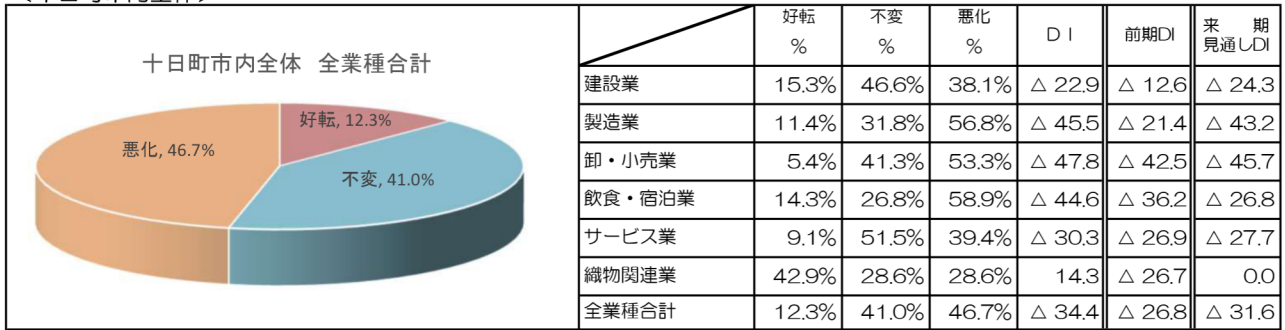


<コメント> 会議所地区の今期の売上状況は、全業種D I値が△17.1ポイントで、前回調査時よりも8.9ポイント低下となっている。飲食・宿泊業、織物関連は上昇したが、そのほかの業種は低下となった。来期見通しでは、飲食・宿泊業、サービス業は上昇の見通しはあるが、織物関連業をはじめその他業種は低下の見通しであり、全業種D I値も低下する見通しとなっている。

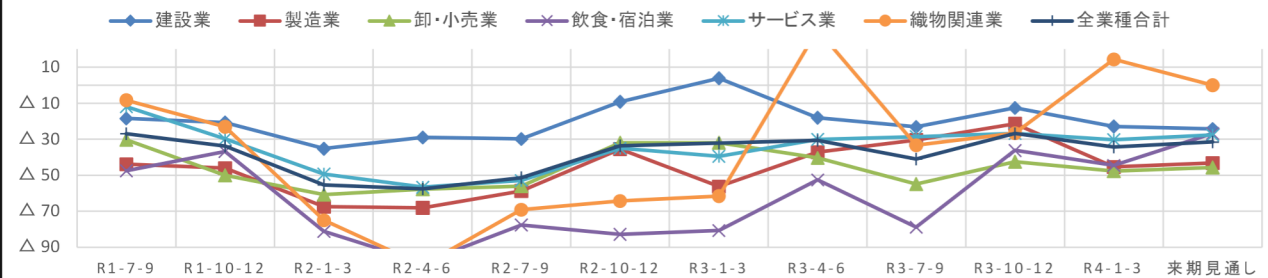
## 2. 採算について

- ・1月～3月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

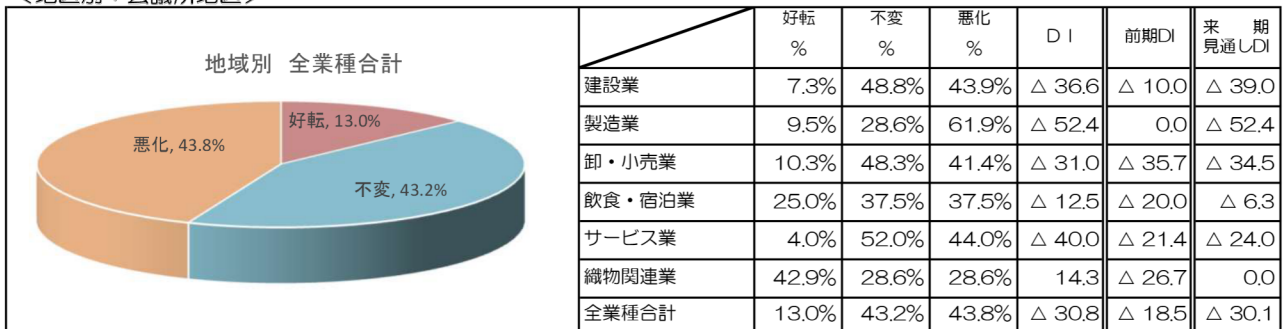


### 業種別採算の推移(市内全体)

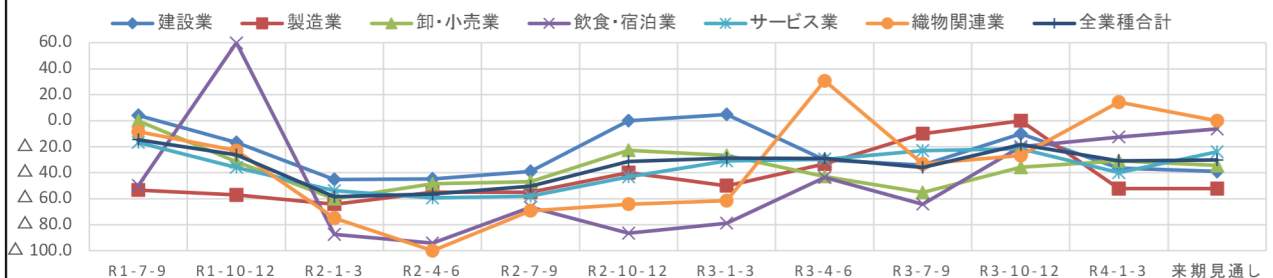


<コメント>十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△34.4ポイントで、前回調査より7.6ポイント悪化している。全業種において悪化となり、特に建設業の割合が大きくなっている。しかし、来期見通しについては、建設業、製造業以外で改善見通しとなり、全業種DI値においても改善の見通しとなる。

<地区別：会議所地区>



### 業種別採算の推移(地区別)

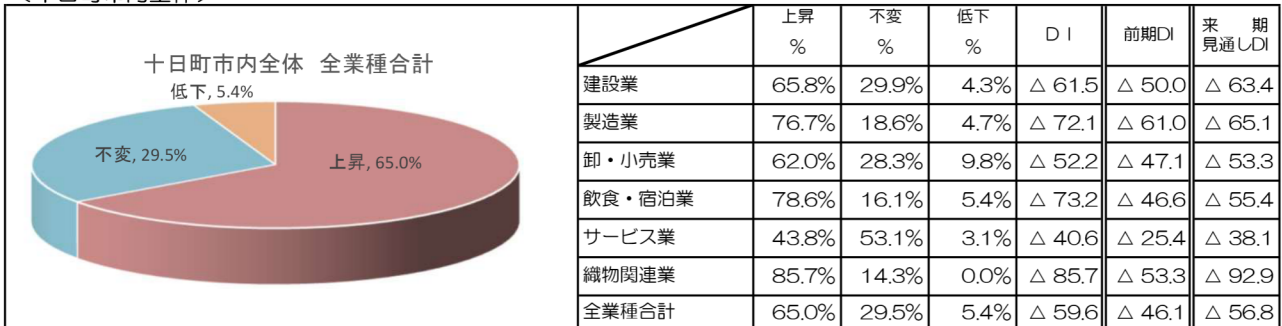


<コメント>会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値で△30.8ポイントで、前回調査より12.3ポイント悪化している。卸・小売業、飲食・宿泊業、織物関連業は改善したが、建設業、サービス業は悪化し、なかでも製造業の割合が大きくなっている。来期見通しについては、織物関連業が悪化の見通しであるが、サービス業が改善の見通しとなり、全業種DI値は横ばいの見通しとなる。

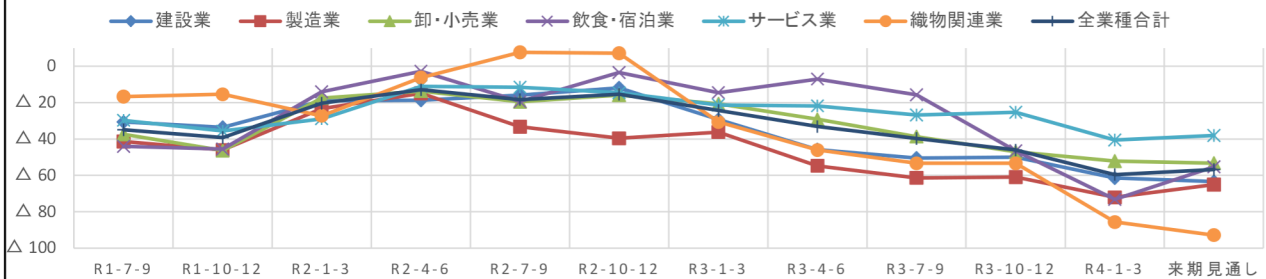
### 3. 仕入単価について

- ・1月～3月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

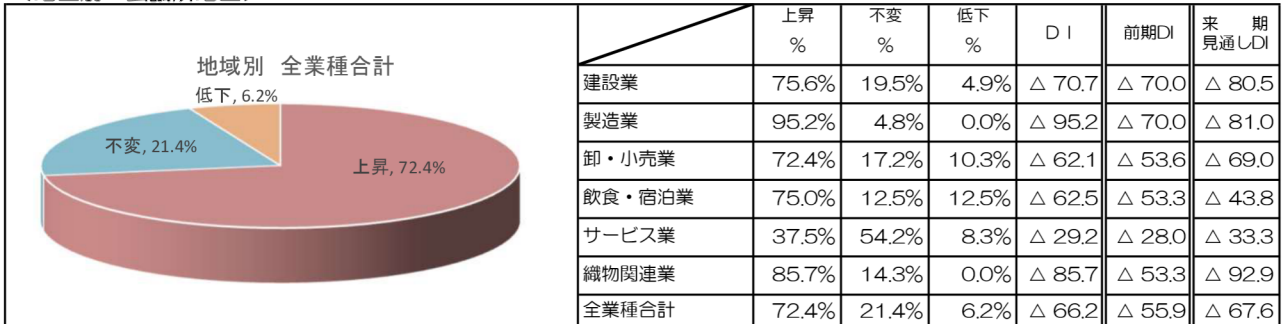


#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)

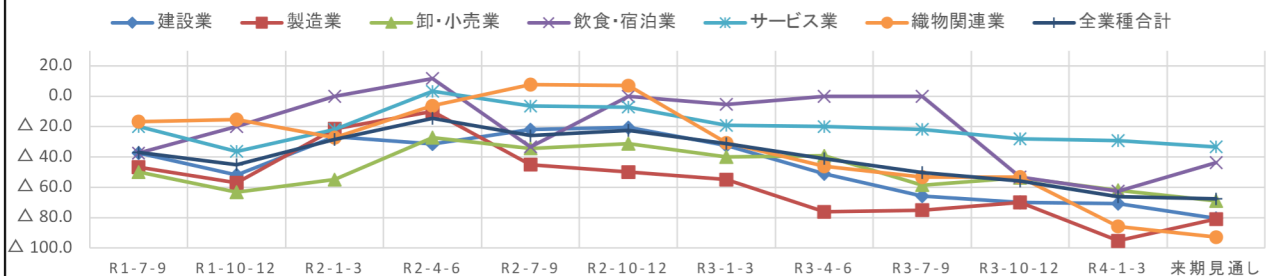


<コメント>十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△59.6ポイントで、前回調査時よりも13.5ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。全業種において仕入単価の上昇が目立つ結果となった。来期見通しとしては、建設業、卸・小売業以外の業種で仕入単価が低下する予測となり、全業種DI値においても仕入単価低下の見通しである。

<地区別：会議所地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)

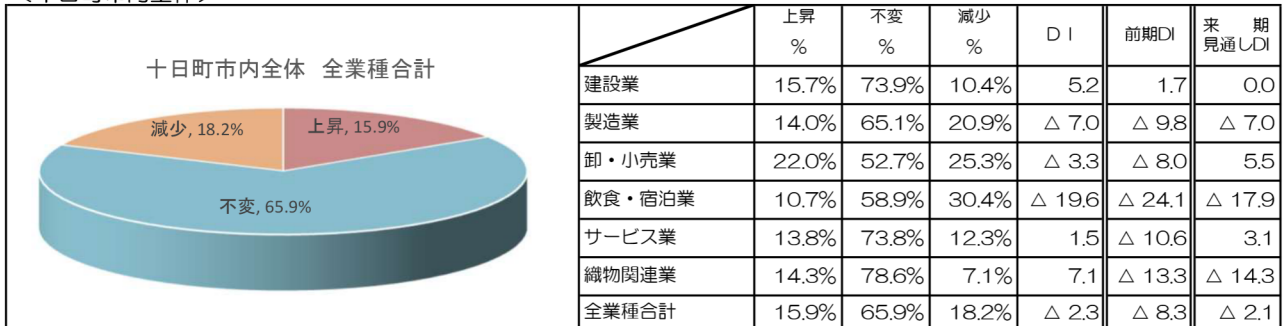


<コメント>会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△66.2ポイントで、前回調査時よりも10.3ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。製造業、織物関連で低下とする企業はなく、全業種において仕入単価上昇となった。来期見通しとしては、製造業、飲食・宿泊業では仕入単価が低下する予測となるが、その他業種では引き続き上昇の予測であり、全業種DI値においても仕入単価上昇の見通しである。

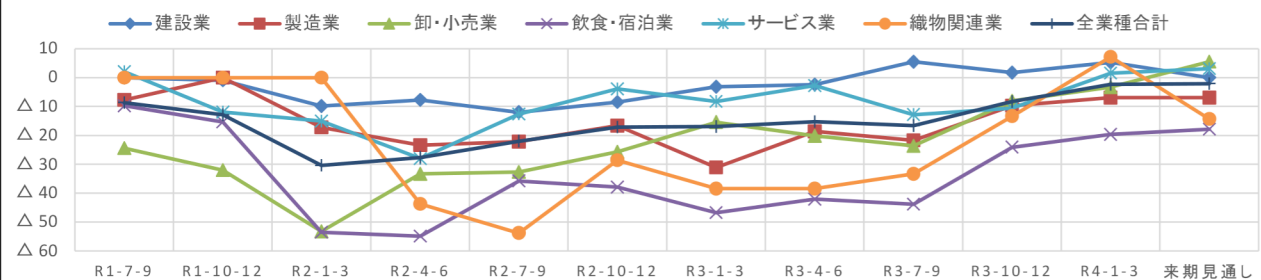
#### 4. 販売（客）単価について

- ・1月～3月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

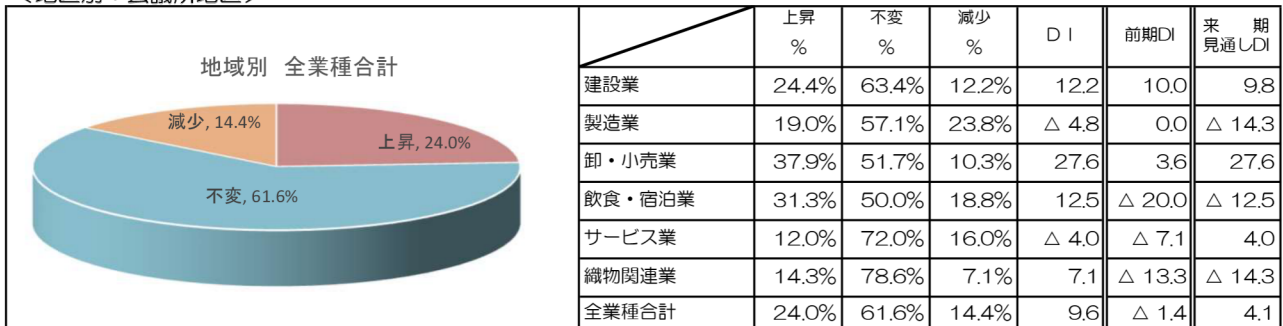


#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

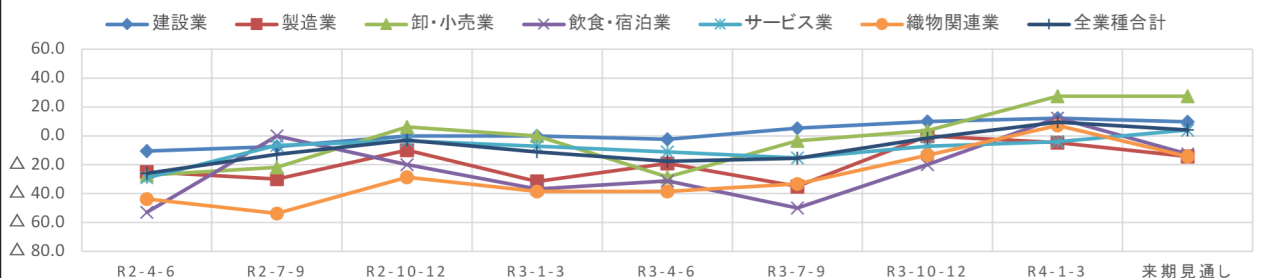


<コメント>十日町市内全体の今期の販売(客)単価の状況は、全業種DI値で△2.3ポイントで、前回調査時より6.0ポイント上昇している。全業種で軒並み数値が上昇している。来期に関しては、製造業、建設業以外の業種で上昇予測となり、全業種DI値も若干の上昇見通しとなっている。

<地区別：会議所地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）

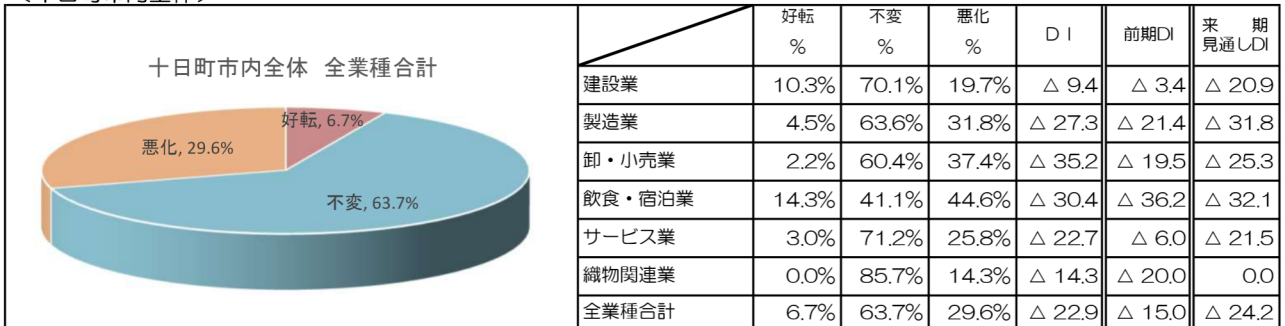


<コメント>会議所地区の今期の販売(客)単価の状況は、全業種DI値で9.6ポイントで、前回調査時より11.0ポイント上昇している。製造業では低下したもののその他の業種は上昇している。来期に関しては、卸・小売業、サービス業以外で低下の予測となり、全業種DI値も減少の見通しとなっている。

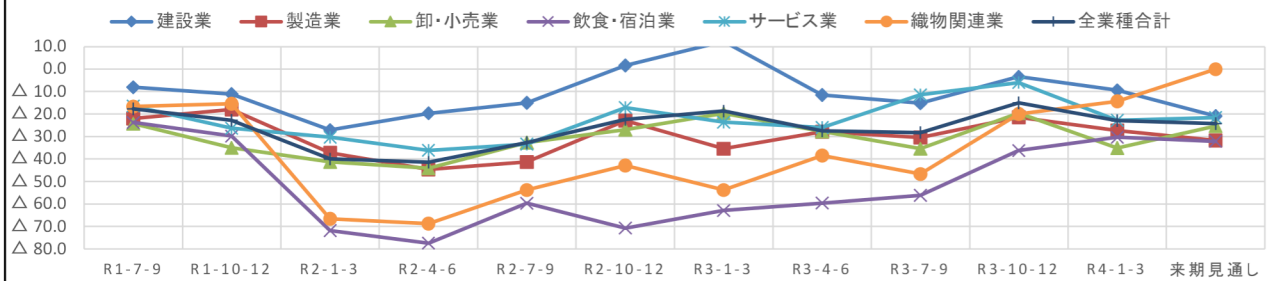
### 5. 資金繰りについて

- ・1月～3月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

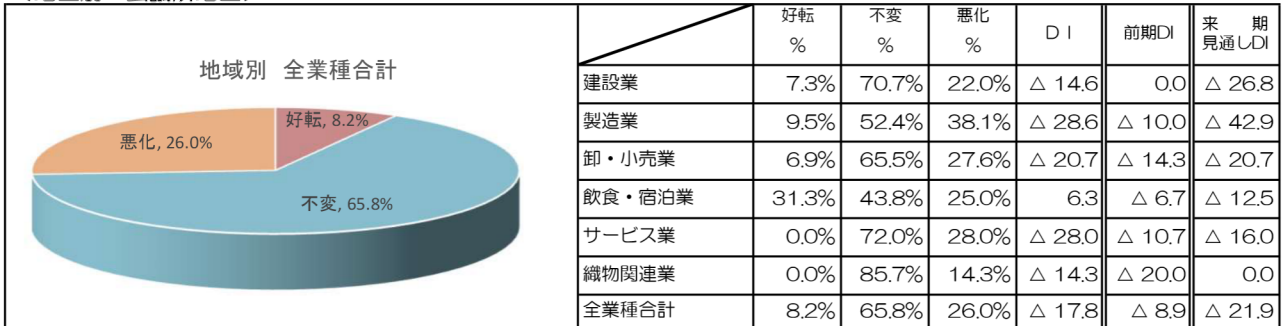


### 業種別資金繰りの推移(市内全体)

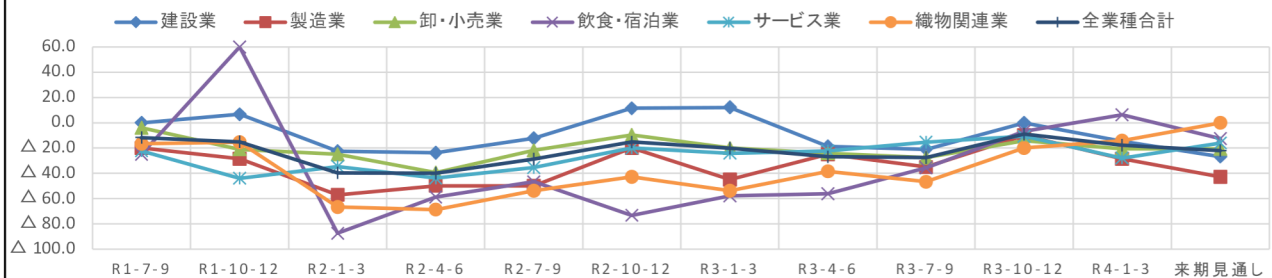


<コメント>十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△22.9ポイントで、前回調査時より7.9ポイント悪化している。飲食・宿泊業以外の業種において悪化が見受けられる中、特に卸・小売業、サービス業の割合が大きくなっている。来期見通しは、卸・小売業とサービス業で改善予測であるが、その他業種では、不変もしくは悪化予測となる。また、全業種DI値についても悪化する見通しとなる。

<地区別：会議所地区>



### 業種別資金繰りの推移(地区別)

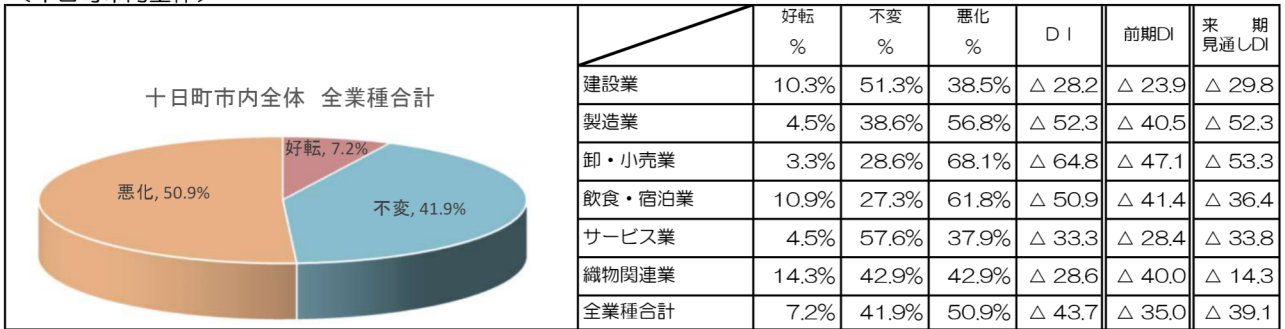


<コメント>会議所地区の資金繰り状況は、全業種DI値で△17.8ポイントで、前回調査時より8.9ポイント悪化している。飲食・宿泊業、織物関連業は改善したものの、その他業種において悪化が見受けられる中、特に卸・小売業、サービス業の割合が大きくなっている。来期見通しは、サービス業と織物関連業で改善予測であるが、その他業種では、不変もしくは悪化予測となる。また、全業種DI値についても悪化する見通しとなっている。

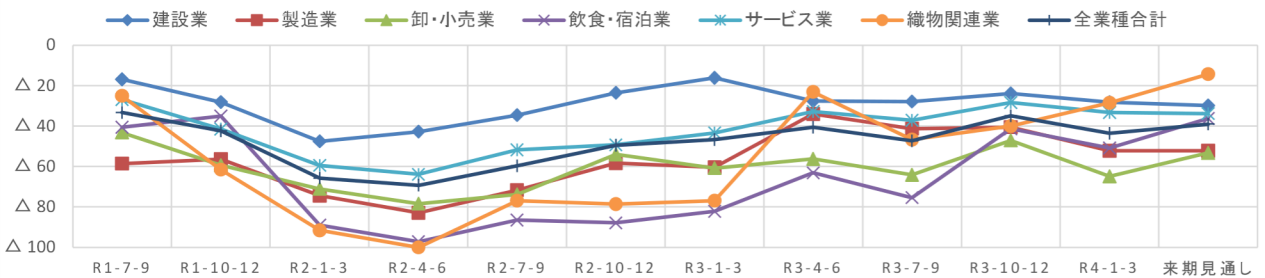
6. 景況判断について

- ・1月～3月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

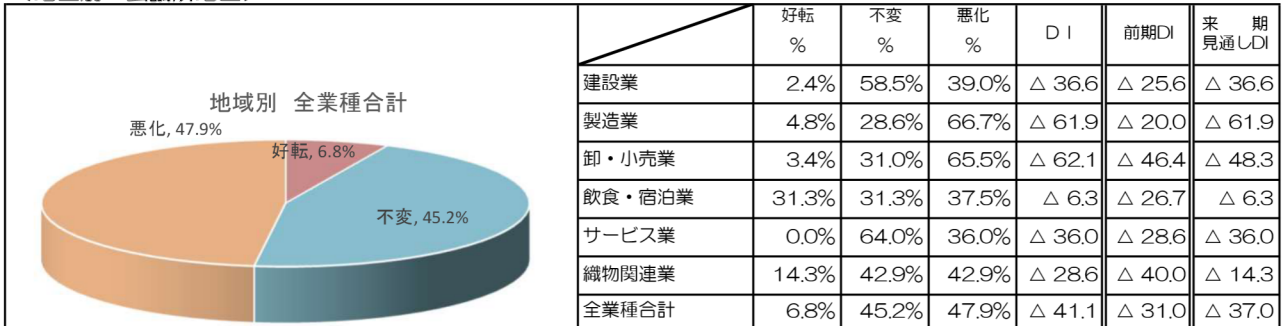


業種別景況判断の推移(市内全体)

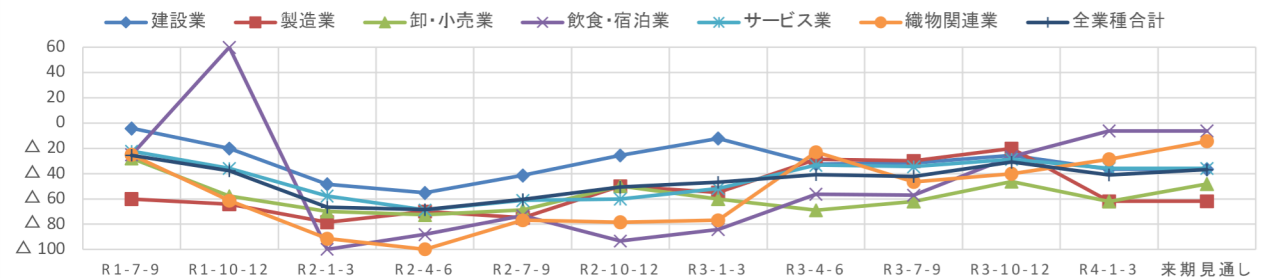


<コメント>十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△43.7ポイントで、前回調査時よりも8.7ポイント悪化している。全業種において悪化が見受けられる中、特に卸・小売業の割合が大きくなっている。来期見通しは、建設業、サービス業以外の業種で好転予測となり、全業種DI値についても好転する見通しである。引き続き動向に注視したい。

<地区別：会議所地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

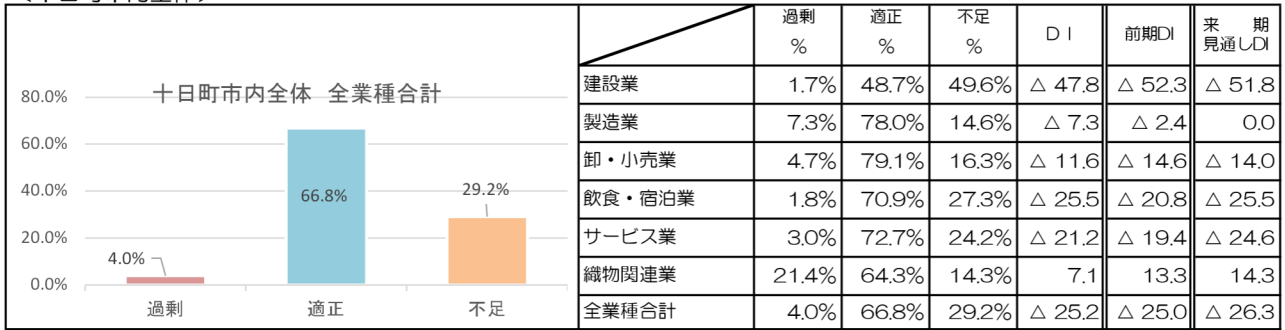


<コメント>会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値で△41.1ポイントで、前回調査時よりも10.1ポイント悪化している。飲食・宿泊業、織物関連業は改善したものの、その他業種は悪化。特に製造業、卸・小売業で悪化の割合が大きくなっている。来期見通しは、卸・小売業、織物関連業で好転予測となり、その他の業種については不変の見通しである。

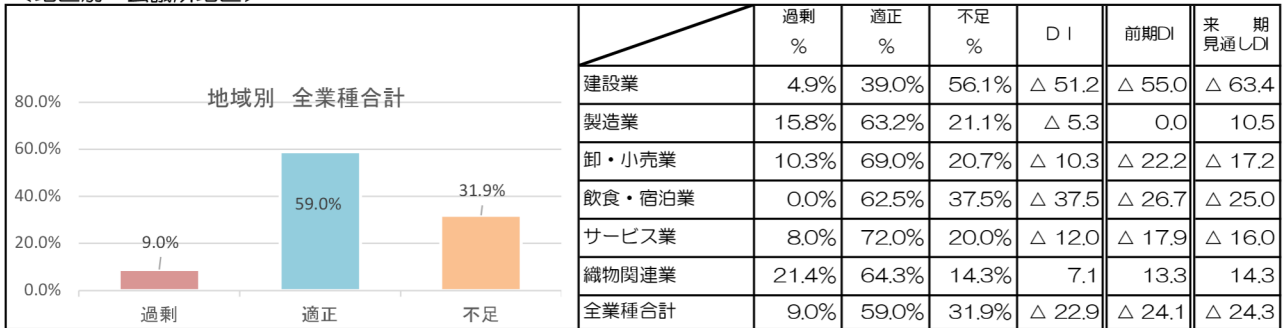
7. 従業員数について

- ・1月～3月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



<地区別：会議所地区>

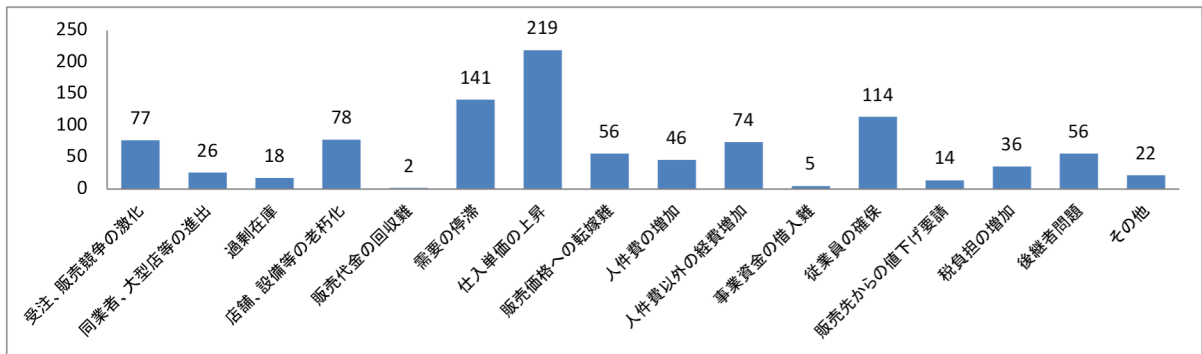


<コメント>今期の従業員数(雇用動向)は、过剩回答が0.6%減少、不変回答が1.0%増加、不足回答が0.4%前回調査時よりも減少している。

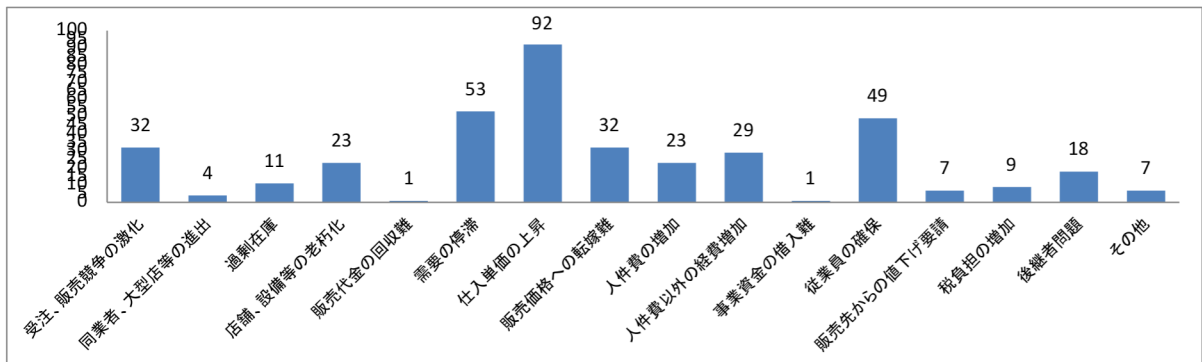
会議所地区の状況は、全業種においては適正回答が一番多いものの、建設業では6割近くが不足と回答している。飲食・宿泊業では、过剩回答が0件であった。

8. 経営上の問題点(上位3つ)：1月～3月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>今回調査での経営上の問題点は、1位が「仕入単価の上昇」、2位が「需要の停滞」、3位が「従業員の確保」、4位が「店舗・設備等の老朽化」であり、「仕入単価の上昇」の割合が非常に大きくなった。

会議所地域の経営上の問題は、1位が「仕入単価の上昇」、2位が「需要の停滞」、3位が「従業員の確保」であった。



## 9. 地区の景況概要

・1月～3月時点での全体概況は

### 【建設業】

今期の建設業の状況は、売上・採算・資金繰り・景況が悪化している。来期見通しにおいては更なる悪化に加え、仕入単価の上昇が予測される。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「従業員の確保」の順に多く回答されている。

### 【製造業】

今期の製造業の状況は、全ての項目で悪化している。中でも採算は52.4ポイントの悪化と厳しい割合になっている。来期見通しにおいては仕入単価の好転が予測されるものの、採算・景況は横ばい、その他の項目は悪化が予測される。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「人件費以外の経費増加」の順に多く回答されている。

### 【卸・小売業】

今期の卸・小売業の状況は、採算・客単価が好転しているが、その他の項目は悪化している。来期の見通しにおいては景況は好転予測ではあるものの、売上・採算・仕入では悪化の予測となっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」の順に多く回答されている。

### 【飲食・宿泊業】

今期の飲食・宿泊業の状況は、採算・仕入は悪化しているが、その他の項目は好転している。来期においては客単価・資金繰りで悪化の予測ではあるが、売上・採算・仕入では好転の見通しとなっている。経営上の問題点は、仕入単価の上昇が最も多く回答されている。

### 【サービス業】

今期のサービス業の状況は、客単価・資金繰りが好転したものの、その他の項目については悪化している。来期においては仕入が悪化の見通しではあるが、その他の項目については好転予測となっている。経営上の問題点は、「需要の停滞」「人件費の増加」の順に多く回答されている。

### 【織物関連業】

今期の織物関連業の状況は、仕入の悪化以外は、全ての項目で好転している。中でも売上は57.1ポイントの増加となっている。来期においては、資金繰り・景況以外は悪化が予測されている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」の順に多く回答されている。